



国内の消費問題を知り、何ができるかを考え、行動に移そう！



あなたの買い物・消費が社会貢献に！

普段の生活の一工夫で、世界の労働問題や環境問題に貢献することができるよ！まずはその方法やヒントを知ることに取り入れ方を考えてみよう！

フェアトレード/オーガニック... いろいろなマークを知ろう！

商品には、それがどういう商品なのかを示すマークがついていることがある。それらを見分けながら買うことで、社会問題への貢献につながる。どんなマークがあるのか見てみよう！



国際フェアトレード 認証ラベル

商品の原料が生産され、輸出入、加工、生産されるまでの間で、国際フェアトレードラベル機構が定めた基準が守られていることを示す。

(参考：FAIRTRADE JAPAN)

中には、会社独自の基準で生産されていて、マークがついていないものもあるよ！フェアトレードの記載や生産者の情報をよく見てみよう。

また、エコ関連のマークについても調べてみよう！



有機 JAS 認証

有機JASマーク

JAS法というルールを守って生産された農産物と加工食品のみに付けられる。それ以外は「有機」や「オーガニック」と記載することができない。(参考：オーガニック認証センター)

日本の

食品ロス問題とその対策



「廃棄大国」と呼ばれる日本では、食料消費全体の**3割**が捨てられている。売れ残りや期限切れ、食べ残しなど本当は食べられたはずの「食品ロス」は、年間で**約 632 万トン**！毎日1人お茶碗1杯分が捨てられている！

食品ロスのおよそ半分は家庭から出ているもの。まずは、買い過ぎない、使い切る、食べ残さないことが大切。賞味期限が過ぎても消費期限を過ぎていなければ食べられることを意識して、気軽に捨てないようにしよう。

また、地域によっては独自の取り組みを行っているところも。自分の地域でも行われているのか調べてみよう！(参考：政府広報オンライン)

意外と身近な

ファストファッション



ファストファッションとは、流行の取り入れられた服を**大量に生産し、低い価格で販売**すること。有名なブランドには、「H&M」「ユニクロ」「ZARA」「FOREVER21」などがある。

これらを生産している工場の多くは途上国にあり、その**労働環境や環境への影響**が問題視されている。多くの有名ブランドは、その国の最低賃金を払えばいいと思っているが、最低賃金だけではまともな生活をするのは困難。建物も古く、管理がきちんとは行われていない。バングラデシュでは工場が崩壊し、多くの従業員が犠牲になった。また、大量生産と大量消費で多くのゴミを出し、環境にも悪い。(参考：ホンシェルジュ)

何ができる？—アクション例—

まずは、近くのスーパーやデパートなどで、労働環境の改善やエコにつながる商品があるか探そう！

- 知る：商品のラベルを調べる、身につけている服がどこで生産されているか調べる など
- 行動する：食べ残しを出さない工夫をする、フェアトレードのものを買う、ボランティア など
- 広める：街頭やオンライン(SNS・ブログ・YouTubeなど)で現状を広める など

自分でアクションを起こそう！ —自分の目標と計画を立てて行動に移そう—

- すぐにできること：
- 頑張ればできそうなこと：
- 挑戦したいこと：

